

EARTH ECO
MAIL MAGAZINE

アース・エコ メールマガジン

特定非営利活動法人
アース・エコ
メールマガジン No.12-7
2021年9月7日(白露)

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、不定期にメールマガジンをお届けしています。

新規感染者数が減少に転じましたが緊急事態宣言はしばらく続きそうです。何が効果を発揮して減少しているか不明で、いつまた増加に転じるか心配です。学校は新学期が始まり10月からは出前授業なども計画していますが、予定通り実施できるかどうか暫く様子を見る必要があります。



気候変動対策の最近の動き

8月9日、IPCCは第6次評価報告書(自然科学的根拠)と、これの政策決定者向け要約を公表しました。

IPCCとは気候変動に関する政府間パネルの略称で、1988年に世界気象機関と国連環境計画により設立され、現在195か国が参加しています。日本を含む各国政府から推薦された科学者が参加し、世界中で発表された気候変動に関する論文の調査・評価を行い、科学的・技術的・社会経済的な評価を報告書にまとめています。今回の第6次評価報告書(AR6)は平成25年の第5次評価報告書以来8年ぶりです。

報告書は3つの作業部会で作成され、第1作業部会(WG1)は、気候システムおよび気候変動に関する自然科学的根拠の部分を担当しています。今回公表された報告書はこの部分で、3つの作業部会を統合した報告書は来年9月に公表予定です。報告書は英文で2千ページ近くあり、これを42ページに要約したのが政策決定者向け要約(SPM)です。

執筆者のひとり、国立環境研究所の江守正多氏によると「今回の報告書は前回の第5次評価報告書から大きく変わった所はない。」(※次ページ)とのことです。では何が変わったのでしょうか？

気候変動により将来何が起きるかを知ることは難しく、あくまでも予測なので様々な変動要因や不確定要素を考慮すると予測は幅を持ちます。最近の研究の結果、予測精度がより精緻になり、この幅が狭くなったそうです。その反面、報告書の内容が増々専門的になり素人には理解し難くなった印象があります。

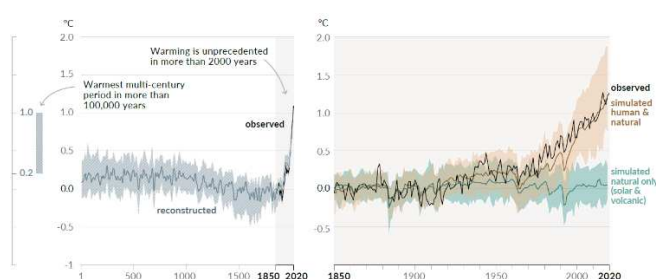
菅首相の退任が決まりましたが、2020年10月の所信表明で「2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロとし、脱炭素社会の実現を目指す」とし

た「2050年カーボンニュートラル」(※次ページ)の宣言は維持されます。「今世紀末の気温上昇を2℃未満に抑え、更に1.5℃未満を目指す」としたパリ協定の達成に「2050年カーボンニュートラル」が不可欠とされ、これに消極的な政府は世界から非難されるからです。

IPCCの報告書に関わらず、やるべきことは既に決まっていると言うことです。しかしどのようにこの目標を達成するか道筋は一向に見えてきません。もちろん私たち市民の日々の努力の積み重ねだけで達成できるものではありません。社会の仕組みや価値観を変える必要があるからです。

環境問題の背景にはエネルギーの大量消費に依存した私たちのライフスタイルがあります。今はエネルギーの多くを化石燃料に依存しているためCO₂排出が問題ですが、再生可能エネルギーへ移行できたとしても別の新たな環境問題が起きる可能性があります。エネルギー消費量の削減、すなわち省エネの重要性が変わることは当然ないと言えます。

新しい首相が2050年カーボンニュートラルへの道筋を早く示してくれることを期待しますが、私たちは日々の省エネを続けたいと思います。 [桑原]

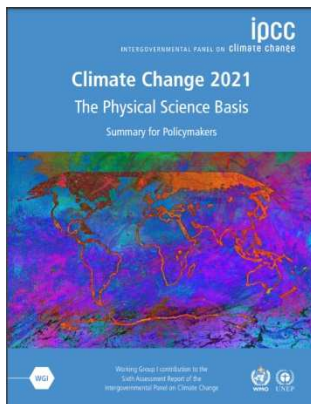


1850-1900年に対する地表気温の変化
(IPCC_AR6_WG1_SPM.pdf より)

8月例会・合同勉強会を開催



参加された皆さん



IPCC AR6 WGI SPM の表紙

新型コロナの新規感染者数の増加が止まらない中、8月25日(水)8月理事会・例会・合同勉強会をオンライン主体+会議室で開催し、会員など14名がオンラインで、2名が相模原市内の会議室で参加しました。

◆ 8月理事会

理事会での協議事項は随時電子メールの交換により協議・承認をおこなっています。

◆ 8月例会

11月までの活動予定で実施日が確定している5件について、参加者の調整と実施内容の確認を行いました。その他の活動予定についても意見交換しました。緊急事態宣言解除の見通しもない中、予定通りの実施が可能か心配です。

8月1日(日)に相模原市立環境情報センターで実施した夏休み環境学校について実施結果を報告し、改善点等について意見交換しました。

出前授業などで行っている省エネ実験を紹介する実験ビデオを作成することになり、プロジェクトチームの発足について意見交換しました。

◆ 合同勉強会

環境教育言葉

小学校などの学校教育で環境問題を取り上げる際に大切なポイントについて、会員からの発表がありました。特に課題として、SDGs、ESDなどの頭文字表記の使い方について、注意すべき点などの指摘がありました。

IPCC AR6 WGI SPM

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第54回総会が開催され、第6次評価報告書(AR6)WG1報告書(自然科学的根拠)政策決定者向け要約(SPM)が8月9日に公表されました。私たちの活動において最も重要な文書であり、これについて意見交換しました。

これからの活動予定

- ◇ 10月18日(月) かながわ環境教室、相模原市南区内の小学校
- ◇ 10月21日(木) かながわ環境教室、横浜市緑区内の小学校
- ◇ 10月23日(土) ハロウィン親子エコ工作塾、横浜市藤が丘地区センター
- ◇ 11月5日(金) 学校出前授業、横浜市青葉区内の小学校
- ◇ 11月13日(土) 関東地区私学教員研修会、オンライン講座
- ◇ 11月17日(水) かながわ環境教室、葉山町内の小学校⑤

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。

earth.eco.jimukyoku@gmail.com

9月の例会・勉強会

9月22日(水)会議室主体+オンラインでの開催を予定しています。会員の皆様には後日メールで参加方法をお知らせします。

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問合せください。

アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://eartheco-mailmagazine.uh-oh.jp/>

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。

⇒ earth.eco.jimukyoku@gmail.com

会員募集中！



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。



アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です

ホームページ <https://npo-earth-eco.com/>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで

earth.eco.jimukyoku@gmail.com

